



Profile

himawari_bib

『himawari_bib』(ヒマワリビブ)。ビブとは、英語でよだれかけのこと。『ヒマワリの花のように、赤ちゃんの笑顔が咲き、素敵な思い出ができますように』との思いをこめて、橋谷みな美さんの長女の名から、ヒマワリビブと屋号をつけた。



ヒマワリビブから始まる物語 みんなの笑顔の花が 咲きますように

長女が赤ちゃんの時、よだれかけが後ろに回ってしまい、マントのようになっていたことから作り始めたヒマワリビブ。似た商品はあっても、橋谷さんの商品は、肌に優しいダブルガーゼを使い、ひらひらのフリルをまとったような形が可愛らしい。そのフリルが二重になっていて、服が汚れにくくなっている。Instagramに投稿したところ、口コミで人気ที่広がり、今ではマルシェの出店などで毎週末大忙し。そんな中、夫が商品の運搬や家事を、裁縫のプロであった曾祖母も製作を手伝ってくれ、家族みんなで盛り上げてくれている。

イベントでは、出産祝いでもらった人が、友人の出産祝いにと購入しにきてくれることも多い。また子どもの保育園では、「私の子どもも使っています」と話しかけてくれ、うれしいのと同時に、自分の商品がコロナで人間関係が希薄になった中、人と人とのつながりを生むことを実感している。

2023年春には実店舗が始動。近くに出産祝いなど買う店も少ないので、ママたちがふらりと立ち寄りおしゃべりをして、息抜きしながら買い物ができる場所になればと考えている。『ヒマワリの町あなん』で、橋谷さんはヒマワリビブの花を咲かせ続ける。